

令和7年第7回平取町議会臨時会（開 会 午前 9時30分）

高山議長

皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は、9名であり、定足数に達していますので会議は成立します。ただいまより、令和7年第7回平取町議会臨時会を開会します。直ちに本日の会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第122条の規定により、6番崎廣議員と7番萱野議員を指名します。

日程第2、会期の決定を議題とします。このことについては、本日、議会運営委員会を開催し協議をしておりますので、その結果を議会運営委員長より報告願います。3番松澤議員。

3番
松澤議員

本日招集されました、令和7年第7回平取町議会臨時会の議会運営等につきましては、本日開催しました議会運営委員会において協議し、会期については、本日、8月7日の1日間とすることで、意見の一致をみておりますので、議長よりお諮り願います。

高山議長

お諮りします。ただいま、議会運営委員長より報告がありましたとおり、会期は本日1日間とすることにご異議ありませんか。

（異議なしの声）

異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日間と決定しました。

日程第3、行政報告を行います。町より行政報告の申し出がありましたので、これを許します。町長。

町長

行政報告といたしまして要望の経過を報告いたします。はじめに日高総合開発期成会要望でございます。令和8年度の日高地方の総合開発に関する提案・要望をしてございます。要望の重点項目といたしまして、災害に強く安全で安心して暮らせる地域づくり、農業・林業・水産業の振興、住みよい生活環境の整備、特色ある地域文化の創造、地域医療・福祉体制の整備などとなっております。あわせて、高規格幹線道路「日高自動車道」の早期整備に関する提案と室蘭開発建設部、室蘭建設管理部への重点事項を要望してございます。当町からは国道沿線の電線の地中化やオーバーレイ、道道平取静内線貫気別市街地の早期整備などについて要望をしてございます。要望先は北海道知事、北海道教育長、道議会議長ほか管内選出議員、各会派議員、北海道開発局長、室蘭開発建設部長、室蘭建設管理部長ほかでございます。要望月日は7月16日から17日の2日間、要望者は日高総合開発期成会といたしまして、私と四戸副議長が参加してございます。また日高総合開発期成会として道内要望と同様の内容と公共事業関係予算に関する内容で中央要望を行ってございます。要望先は道内選出国會議員、国土交通大臣、農林水産大臣、厚生労働大臣、環境大臣、財務大臣、文部科学大臣ほか関係省庁となっております。要望月日は7月29

日から30日。要望者は日高総合開発期成会として、私が参加してございます。次に要望項目3のアイヌ総合政策推進に関する要望でございます。要望内容は、アイヌ総合政策推進交付金の潤沢な予算配分等について及び平取地域イオル再生に関し、エコミュージアムという概念を基本とする国営公園制度の活用、アイヌ伝統工芸（アットゥシ）の重要無形文化財の指定・各個認定保持者の認定に関し要望してございます。要望先は道内選出国會議員、内閣府特命担当大臣、国土交通省北海道局長、内閣官房アイヌ総合政策室長でございます。また環境省には、日高山脈襟裳十勝国立公園の保全・活用の推進にあたりまして、地域のアイヌ文化とアイヌの人々との連携と参画に関し要望して参りました。要望先は自然環境局国立公園課長、自然環境整備課長でございます。要望月日は7月30日から7月31日で、私と平取アイヌ協会木村会長、宇南山副会長、川奈野副会長で要望してきてございます。以上、行政報告とさせていただきます。

高山議長

続いて、副町長の行政報告。

副町長

はい。それでは私のほうからヒグマ注意報発出の経過及びヒグマ目撃情報に対する対応について報告をさせていただきます。まず、7月29日の午後7時頃、小学生2人が町道本町グラウンド線でクマらしきものを目撃したとの情報を翌日の30日に町の担当者が報告を受け、その後、猟友会と町で現地を確認をしましたけれども、痕跡は見つからなかったということですが、猟友会による朝夕の巡回を行うことといたしました。次に7月31日の夕方ですけれども、町の担当者が民家のベランダに動物とみられる足跡があり不安視しているという情報を得ましたけれども、当日は家主が不在だったため、翌日の8月1日に連絡を取り、家主の了解のもと、午後に警察、猟友会、そして町の担当者が足跡がある2階のベランダを確認したところ、子グマとみられる足跡が数か所、往復したような足取りが確認されたということです。この足跡を家主が確認したのは7月29日の朝7時頃ということで、朝夕の時間帯は違いますけれども、町道本町グラウンド線の日撃情報と重なり、北海道と協議のうえ住宅街での出没や目撃が重なったことから、ヒグマ注意報を発することとし、期間は8月1日から8月31日の1か月となっております。町としての対応は、本町、荷菜地区に対し消防の広報用屋外スピーカーによる啓発と、車両による広報、新聞折込によるチラシの配布、ホームページでの周知を行っています。また門別警察署は夜間巡回を行っているところです。このほか学校等の関係機関にも周知を行っております。そのほか各自治会においては独自のチラシの配布を行っていただきました。次に8月6日、昨日ですけれども、朝5時頃、本町のふれあいセンターびらとり近くのアパートの住民から、室内犬が外を見て吠えていたため住民が外を見ると、小柄なクマが歩いていたと町に通報があり、その後、猟友会、警察、町で現地を確認したところ、近くの草むらに何者かが通った跡と思われる痕跡が発見されまして、それ以外は特に見つけることはできませんで

した。また同じく、昨日の朝 6 時頃ですけども、義経公園付近で住民が町道病院住宅線の舗装道路上に濡れた動物の足跡を発見し、その後猟友会、警察、町で確認したところ、濡れた足跡は乾いてしまって発見はできませんでしたけども、違う近くの場所で幅 10 センチくらいのクマの足跡が発見されました。猟友会の見解では、母グマの足跡は発見できなかったことから、巣立って間もない子グマと推測されるということでした。対応としては、義経公園を封鎖し園内に箱わなを設置、注意看板と監視カメラを設置しています。また消防の広報用屋外スピーカーによる啓発、車両による広報の実施、また本町墓地、荷菜墓地には、クマ出没注意及び供物の持ち帰りをという周知の看板を設置し、またホームページに掲載をしています。また本町、荷菜地区に対しては今週のまちだよりに啓発のチラシを折り込む予定となっています。そのほかの学校関係等についても周知をしているところです。このほか、門別警察署に夜の巡回と、本町自治会では該当町内会へのチラシの配布を行っていただいているところです。以上報告します。

高山議長

以上で行政報告を終了いたします。

日程第 4、議案第 1 号、固定資産評価員の選任についてを議題とします。提案理由の説明を求めます。町長。

町長

議案第 1 号、固定資産評価員の選任についてを説明申し上げます。固定資産を適正に評価し、かつ町長が行う価格の決定を補助するための評価員の選任について、地方税法第 404 条第 2 項の規定によりまして、議会の同意を求めるものでございます。選任する者は、住所、沙流郡平取町字荷菜 35 番地 18、氏名、松島和寿氏、生年月日、昭和 43 年 12 月 19 日、56 歳でございます。令和 7 年 7 月 1 日付けの異動によりまして、税務課長となったことでの選任でございます。ご審議のほどお願い申し上げます。

高山議長

説明が終わりましたのでこれから質疑を行います。質疑はありませんか。

(質疑なしの声)

質疑なしと認めます。これで質疑を終了いたします。次に討論を行います。討論はありませんか。

(討論なしの声)

討論なしと認めます。これで討論を終了いたします。それでは採決を行います。本案について、原案に同意することに賛成の方は挙手願います。

(賛成者挙手)

挙手多数です。したがって、日程第 4、議案第 1 号、固定資産評価員の選任については、原案に同意することに決定いたしました。

日程第 5、議案第 2 号、令和 7 年度平取町一般会計補正予算第 4 号を議題とします。提案理由の説明を求めます。総務課長。

議案第2号につきましてご説明申し上げますので、2ページをお開きください。

令和7年度平取町一般会計補正予算第4号は次に定めるところによるものとします。第1条、歳入歳出予算の補正ですが、歳入歳出にそれぞれ1,059万円を追加し、予算の総額を75億3,923万8,000円にしようとするものです。第2項で、歳入歳出予算の補正の区分及び金額等については、第1表、歳入歳出予算補正によるものとしています。第2条、地方債の変更は、第2表地方債補正によります。それでは、歳入歳出予算事項別明細書の歳出からご説明いたしますので、9ページをお開き願います。上段、2款1項12目ゼロカーボン推進費、18節負担金、補助及び交付金346万円の追加です。これは住まいのゼロカーボン化推進事業として、当初予算において太陽光発電設備や蓄電池などの再生エネルギー設備への支援と、エアコン20台を含む省エネルギー設備導入支援補助金として349万円を措置しましたが、7月後半の猛暑の影響を受け、省エネルギー型エアコンの導入希望者が急増したことを受け、予算の範囲内での補助とするか、追加補正し対応するかを検討しましたが、北海道内にあって40度に迫る異常気象が発生していること、地域経済の活性化に寄与していることなどを考慮し、北海道からの支援を受けられている本年度での補正が妥当と判断し、導入済みとこれまでに導入希望のある台数37件に加え、締切日である8月31日までの追加需要を30台と見込み、合計67台分のエアコン補助の予算の確保のため、346万円を追加補正しようとするものです。財源は道補助金173万円、地方債170万円、残額3万円が一般財源となります。下段、3款1項7目アイヌ施策推進費713万円の追加です。10節需用費、修繕料428万9,000円の追加ですが、これは二風谷にあるイオルの森の作業道が雨により洗掘され通行に支障が生じていることから、道路延長500メートルの補修や排水対策工施工のための費用を補正しようとするものです。14節工事請負費284万1,000円の追加ですが、これは本町親水公園内に水辺空間としてガマを育成している箇所がありますが、エゾシカなどの有害獣による食害発生懸念があるため、侵入防止柵400メートルの設置をするものとし、必要な経費を補正しようとするものです。これらの財源は国庫補助金570万4,000円、地方債を130万円充当し、残額12万6,000円が一般財源となります。歳出については以上です。次に、歳入についてご説明いたしますので、6ページをお開きください。上段、15款2項2目民生費国庫補助金、1節社会福祉費補助金570万4,000円の追加です。これは歳出アイヌ施策推進費でご説明申し上げました修繕料と工事請負費の80パーセントをアイヌ政策推進交付金として計上しております。下段、16款2項1目総務費道補助金、2節企画費補助金173万円の追加です。これは歳出ゼロカーボン推進費でご説明申し上げました住まいのゼロカーボン化推進事業補助金の2分の1の額を計上しております。7ページをお開きください。上段、20款1項1目1節繰越金15万6,000円の追加です。これは歳出の補正額

から特定財源を差し引いた一般財源合計額 15 万 6,000 円を繰越金に求めるものです。下段、22 款 1 項 1 目 1 節総務債 170 万円の追加です。これは歳出ゼロカーボン推進費でご説明申し上げました住まいのゼロカーボン化推進事業の財源として過疎債を充当するものです。8 ページをお開きください。22 款 1 項 2 目 1 節民生債 130 万円の追加です。これは歳出アイヌ施策推進費でご説明申し上げました事業費の補助残に対し、教育・福祉施設等整備事業債を充当しようとするものです。事項別明細書のご説明については以上となります。続いて、第 2 表、地方債補正についてご説明させていただきますので、4 ページをお開きください。地方債の合計額については、補正前で 5 億 2,930 万円でしたが、この度の補正により 300 万円追加となり、補正後の限度額は 5 億 3,230 万円となります。10 ページには地方債現在高に関する調書を添付しており、本補正額を反映した現在高を記載しておりますので後ほどお読み取り願います。以上、議案第 2 号のご説明をさせていただきましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

高山議長 それでは説明が終わりましたので、これから質疑を行います。質疑ありませんか。6 番崎廣議員。

6 番
崎廣議員 6 番崎廣です。9 ページ、ゼロカーボンの補助金なんですけども、今のご説明でいくと追加の 30 台分の補正というふうに理解してよろしいですか。

高山議長 まちづくり課長。

まちづくり課長 はい。ご回答申し上げます。お見込みのとおりでございます。

高山議長 ほか、質疑はありませんか。2 番中川議員。

2 番
中川議員 はい、2 番中川です。同じく 9 ページの下の水辺空間整備事業工事とありますけども、これ、設置するのはいいんですけども、管理についてはどこがするのかちょっと教えてもらえますか。

高山議長 アイヌ施策推進課長。

アイヌ施策推進課長 はい。今の質問にお答えいたします。現在の管理については平取町が占有しているわけなんですけど、イオル再生事業についてはアイヌ文化振興公社のほうに委託しておりますので、管理については公社のほうで管理をするということになってございます。

高山議長 2 番中川議員。

2 番
中川議員

はい、わかりました。公社のほうで管理をするということなんですけども、どうしてもシカ柵というのは、どうしてもシカが寄ってきたら壊されるもので、一応修理はしていかなくちゃいけないというふうになると思います。今農業のほうでもシカ柵ついていますけども、確実に修理が必要となっております。そこで、その公社のほうでね、修理をするのかどうかわかりませんが、その修理費というのはどこから出るのか、またどこから出すのかちょっとそこら辺も教えてもらえますか。

高山議長

アイヌ施策推進課長。

アイヌ施策推進課長

はい。ただいまの質問にお答えいたします。現在イオル再生事業のほうで行っているシカ柵と農業のシカ柵とちょっとタイプが違いまして、角材であったり、丸太材を支柱にいたしまして、3.6メートルの木杭を1メートル埋め込んで、地面から2.5メートルの高さでキネシオネットっていう、ステンレスの入ったネットを巻いています。イオルの森、あるいは21世紀プロジェクトでもその方法をとっておりまして、今のところ修復しているっていうところがなくてですね、隣の3つの池のガマのそこのシカ柵についても、今のところ修繕といったものが出ていなくて、比較的頑丈なものになっておりまして、壊れないタイプかなとは思っていますけど、もし壊れた場合についてはイオル再生事業の修繕費の中で対応できるというふうに考えております。

高山議長

ほか、質疑ありませんか。

（質疑なしの声）

それでは、質疑なしと認めます。これで質疑を終了いたします。次に討論を行います。討論はありませんか。

（討論なしの声）

討論なしと認めます。これで討論を終了します。それでは採決を行います。本案について、原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

（賛成者挙手）

挙手多数です。したがって、日程第5、議案第2号、令和7年度平取町一般会計補正予算第4号は、原案のとおり可決しました。

本臨時会に付された事件の審議状況を報告します。議案2件で、同意1件、原案可決1件となっています。

以上で、全日程を終了しましたので、令和7年第7回平取町議会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。ご苦労様です。

（閉 会 午前 9時52分）

